

群馬県戦略的文化芸術創造事業

千住明 総合プロデュース「伝統と革新」

指揮 千住明

ソプラノ 小林沙羅 メゾソプラノ 谷口睦美

テノール 鈴木准 バリトン 与那城敬

演奏 群馬交響楽団

合唱 「伝統と革新」特別合唱団

合唱指導 足立さつき

映像 田村吾郎



小林沙羅



谷口睦美



鈴木准



与那城敬

万葉人の心に込められた
普遍的な想いを日本の歌と旋律で描く

作曲:千住明 台本:黛まどか

オペラ「万葉集」

～明日香風編
二上山挽歌編

〈演奏会形式〉

令和2年3月27日(金) 19:00開演 18:15開場 高崎芸術劇場 大劇場

料金:S席/6,000円 A席/5,000円 B席/4,000円 B席のみU25/2,000円(税込・未就学児童入場不可)

チケット
発売中

- イープラス : <https://eplus.jp>
- チケットぴあ : (Pコード174-663)
- ローソンチケット : (Lコード32898)
- SAP : 03-6912-0945 <https://www.sap-co.jp>
- 窓口のみ取扱い : 高崎芸術劇場(高崎市各施設プレイガイド)・ベシア文化ホール



問い合わせ

SAP 03-6912-0945 <https://www.sap-co.jp>

桐生音協 0277-53-3133 <http://k-onkyo.gr.jp/>

(公演に関する注意事項)

- U25 チケットでのご入場の際年齢を確認させていただく場合があります
- 公演内容につきましては、やむを得ない事情により変更が生じる場合がありますのであらかじめご了承ください
- 公演中止の場合を除き、ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はお受けできません
- 公演中の録音・録画・撮影は固くお断りいたします



群馬県戦略的文化芸術創造事業「伝統と革新」の開催について

2020年の東京オリンピック・パラリンピックイヤーの幕開けを飾る、日本博の文化プログラムとして実施する「群馬県戦略的文化芸術創造事業」のプログラムを、2019年9月にオープンした高崎芸術劇場で開催します。日本博のテーマである「日本の美」=「日本の四季」をメインテーマに、世界的なアーティストである千住明氏を総合プロデューサーに迎えます。そして、群馬県で生まれ、創立75周年を迎え、日本の地方交響楽団の草分け「群馬交響楽団」との演奏に日本が世界に誇る歴史や伝統文化を加え、映像や現代アートのプロデューサーがタグを組む革新的な公演です。

【日本博とは】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として日本全国を舞台に実施することとされ、日本の美を体現する我が国の文化芸術の振興を図り、その多様かつ普遍的な魅力を国内外に発信することを目的に、日本各地で展開するものです。



千住明

千住明 (作曲・指揮)

1960年東京生れ。東京藝術大学作曲科卒業。同大学院首席修了。修了作品「EDEN」(1989)は史上8人目の東京藝術大学買上となり、同大学美術館に永久保存されている。代表作にピアノ協奏曲「宿命」(ドラマ「砂の器」劇中テーマ曲)、「四季」、オペラ「万葉集」「滝の白糸」、「カレンダー組曲」等。ドラマ「ほんまもん」「風林火山」、映画「226」「黄泉がえり」「涙そうそう」「追憶」、アニメ「機動戦士Vガンダム」「鋼の錬金術師FA」、NHK「日本映像の20世紀」「ルーブル美術館」NHKスペシャル「世紀を超えて」「平成史」「全貌二・二六事件」、TV「アイアンシェフ」、CM「アサヒ スーパードライ」、ウィーン美術史美術館&TBS公式テーマ曲「Glorious Museum」、中国ミュージカル「白夜行」等、音楽担当作品は数多い。2018年上海文化広場に於いてミュージカル「白夜行」の初演が大盛況のもと行われ、中国全国ツアー中。受賞歴多数。2019年には、天皇陛下御即位三十年記念式典にて天皇后両陛下による著作歌曲「歌声の響」の編曲とピアノを担当。三浦大知、千住真理子と共に記念演奏を披露。メディアへの出演も多く、NHK「日曜美術館」のキャスターもつとめた。"ANA Honolulu Music Week" Executive Director。東京藝術大学を中心とした音楽と美術の制作グループ「Senju Lab」主宰。東京藝術大学特任教授。



黛まどか

黛まどか (台本)

俳人。神奈川県生まれ。2002年、句集『京都の恋』で第2回山本健吉文学賞受賞。2010~2011年、文化庁「文化交流使」としてパリを拠点に欧州で活動。オペラ「万葉集」「滝の白糸」の台本執筆、校歌の作詞ほか、テレビ朝日/BS朝日「あなたの駅前物語」の語りと俳句を担当するなど、幅広い分野で活躍中。現在、「日本再発見塾」呼びかけ人代表、「公益財団法人東日本鉄道文化財団」評議員、ワコールホールディングス社外取締役、北里大学・昭和女子大学・月宮橋大学客員教授。

著書に、句集『B面の夏』『てっぺんの星』、紀行集『奇跡の四国遍路』『ふくしま讃歌』、随筆『引き算の美学』、エッセイ集『うた、ひとひら』『あなたへの一句』ほか多数。



小林沙羅

小林沙羅 (ソプラノ)

東京藝術大学及び同大学院修了。2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ルームミュージックファンデーション奨学生。2010~15年ウィーンとローマにて研鑽を積み、2006年『バスティアンとバスティエンス』でデビュー後、東京芸術劇場「トゥーランドット」リユー、兵庫県立芸術文化センター「こもり」アデーレ、『魔弾の射手』エンヒュン、新国立劇場「パルジファル」花の乙女等に出演。2012年ブルガリア国立歌劇場「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタで欧州デビュー。また千住明・黛まどかの「万葉集」、三枝成彰「KAMIKAZE」愛子など、多くの新作オペラ初演を務める。2015年野田秀樹演出『フィガロの結婚』スザンナ、2017年藤原歌劇団「カルメン」ミカエラ、2019年全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』、2020年日本オペラ協会「紅天女」等話題作に続々出演。2019年11月、日本コロムビアより3枚目のCDアルバムをリリース予定。2017年第27回出光音楽賞受賞。2019年第20回ホテルオークラ賞受賞。日本音楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。



谷口睦美

谷口睦美 (メゾソプラノ)

東京藝術大学卒業。同大学院、二期会研修所修了。第19回出光音楽賞受賞。『皇帝テイトの慈悲』(P.コンヴィチュニー演出)セストで東京二期会デビュー。その後『カルメン』タイトルロール、『ナクソス島のアリアドネ』作曲家、『ドン・カルロ』エポリ公女、『カヴァレリア・ルスティカーナ』ローラ、『鹿鳴館』大徳寺公爵夫人季子、『リゴレット』マッダレーナ、『ラインの黄金』フリッカなど、新国立劇場をはじめ数々の舞台上で活躍。近年では18年新国立劇場「ホフマン物語」アントニアの母の声/ステッラ、東京二期会「修道女アンジェリカ」修練女長に出演。コンサートにおいてもヴェルディ「レクイエム」、モーツァルト「レクイエム」ヘンデル「メサイア」などで主要オーケストラと共演を重ねている。19年には韓国光州メトロポリタンオペラ、韓国スンチョン市民文化オペラ「カルメン」タイトルロールで出演。20年2月びわ湖ホールにてワーグナー「神々の黄昏」ヴァルトラウテ出演予定、4月新国立劇場「ホフマン物語」再演にてアントニアの母の声出演予定。二期会会員



鈴木准

鈴木准 (テノール)

北星学園大学文学部、東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了。音楽博士号取得。兵庫県立芸術文化センター『セビリヤの理髪師』伯爵、びわ湖ホール『死の都』パウル、新国立劇場「沈黙」モキチ、「夕鶴」与ひょう、日生劇場「後宮からの逃走」ベルモンテ、神奈川県民ホール「金閣寺」柏木、N響「フィデリオ」ヤキーン等出演。殊に「魔笛」タミーノは、二期会、新国立劇場、日生劇場、ロームシアター京都、兵庫県立芸術文化センター等全国各地で出演、絶賛を博している。海外でもブリティッシュ・リヴァー「狂女をロンドンとオーフォードの教会で演じ国際的評価を得た。松本隆現代語訳によるCD『冬の旅』《白鳥の歌》をリリース。二期会会員



与那城敬

与那城敬 (バリトン)

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業後に声楽へ転向、同大学研究科修了。二期会及び新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外研修員として渡伊。二期会『エウゲニ・オネーギン』タイトルロール、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、新国立劇場「鹿鳴館」影山悠敬伯爵、『沈黙』フェレイラ、日生劇場「メデア」イヤソン等で高い評価を得た。近年も、二期会「蝶々夫人」シャープレス、『金閣寺』溝口、香港オペラ「ラ・ボエーム」マルチェロ、日生劇場「ゴジ・ファン・トゥッテ」ドン・アルフォンソ、グランドオペラ共同制作「カルメン」エスカミーリョ等話題の公演に出演、ブリモ・バリトンとして幅広く活躍している。CD「FIRST IMPRESSION」リリース。二期会会員



群馬交響楽団

群馬交響楽団

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2018年度までに延べ638万人を超える児童・生徒が鑑賞した。2014年6月には定期演奏会が500回に達し、2015年11月には創立70周年を迎えた。群馬交響楽団は群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。2019年4月より小林研一郎がミュージック・アドバイザーに就任。



足立さつき

足立さつき (合唱指導)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。1986年第3回ニッカ椿姫新人賞第1位を受賞。1987年「椿姫」のヴィオレッタ役でオペラ・デビュー。以後、「こもり」のアデーレ、「フィガロの結婚」のスザンナ、「リゴレット」のジルダなど様々なオペラに出演。1991年よりミラノへ2年間留学。1994年と2004年にはウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラとの全国公演にソリストとして参加し、絶賛を浴びる。1996年12月31日-翌1997年1月1日の両日、ザルツブルグ・モーツァルトフェウム大ホールにて行なわれた、ウィーン・オペレッタ・オーケストラのジルベスター及びニュー・イヤークンサートに出演。近年、後進の指導とともに合唱指導も始め、2013年1月には、東京交響楽団附属、東響コーラス25周年記念「万葉集」公演で、合唱指揮者デビュー。ソロ活動と共に、東京、故郷・丹波市の他、各地での指導者、ヴォイストレーナーとしても活動している。



田村吾郎

田村吾郎 (映像)

2002年 東京芸術大学大学美術学部デザイン科卒業、同大学院美術研究科博士課程へ進み、ソウル大学で研究活動を経て2007年に修了後、東京芸術大学美術学部デザイン科教育研究助手。2010年~東京工科大学デザイン学部専任講師。大学で教育に従事する傍ら、アートディレクター、クリエイティブプロデューサーとして企業、音楽団体、ホール、音楽祭などのブランディング、映像を駆使した斬新な手法で演奏会やオペラなどの演出を手がけている。近年では大型球体スクリーン「WV Sphere5.2」など、装置などの開発も手がけ、アート、テクノロジー、デザイン、経済、文化などあらゆる領域を包括的に捉え、様々なジャンルのプロデュース、ディレクションを実行している。